



講義リスト

講義番号 ①

01



歯科保存学第1講座
教授 吉成 伸夫
Nobuo Yoshinari

専門・研究分野
歯周病学

歯学と医学の深い関係—理系の学問を知る

吉成教授の専門分野である歯周病は、糖尿病や肺炎など、さまざまな全身疾患と深い関連性があります。現在自ら取り組んでいる「歯周病と動脈硬化症」の原因を探る研究内容を紹介しながら、歯学と医学は密接に関係していて、隔たりなく研究が進められている現状を語ります。歯科医療の現状や魅力を伝えるとともに、高校の生徒たちが現在学んでいる理数系科目の知識が、将来、大学の教育とどのように結びつかを、具体的に分かりやすく解説します。

講義番号 ②

02



口腔解剖学第1講座
准教授 金銅 英二
Eiji Kondo

専門・研究分野
神経機能解剖学
生体調節制御学

あなたはどんな生き方を選びますか？

金銅准教授は、ヒトが「痛み」を感じるメカニズムを研究していますが、プライベートでは音楽が大好き、オルガンの名手でもあります。高校生のときはミュージシャンになろうか、歯科医師の道へ進もうか、かなり迷ったそうです。若い人たちには無限の可能性が広がっています。『You are the source (あなたが源!)』、とにかくチャレンジすることが准教授のモットー。自身の体験談や近況を交えながら、進路の指針となるようなトークを繰り広げます。

講義番号 ③

03



大学院歯学独立研究科長
高橋 直之
Naoyuki Takahashi

専門・研究分野
硬組織疾患解析学

どうして歯が抜けるのですか？

歯を支えているのは歯槽骨です。歯槽骨は形成と吸収(破壊)を繰り返しています。リモデリング(再構築)と呼ばれる現象で、骨を形成する骨芽細胞と骨を吸収する破骨細胞が主役を演じています。歳をとると破骨細胞による骨吸収が骨芽細胞による骨形成を上回るため骨量が減少します。特に、歯周病になると骨吸収が促進され歯槽骨が少なくなります。こうした骨リモデリング研究の最前線についてお話しします。また、大学院の基盤となっている総合歯科医学研究所の概要も紹介します。

講義番号 ④

04



大学院顎口腔機能制御学講座
教授 増田 裕次
Yuji Masuda

専門・研究分野

高次中枢神経制御学

食べる、味わう、話す一口のはたらきはとっても不思議！

「咀嚼」=食物をかんで味わうこと。「摂食・嚥下」=食物を摂取してのみくだすこと。口の働きには、こうした消化機能のほか、呼吸する機能、喜怒哀楽の表情を示す機能、言葉を発するコミュニケーション機能などがあります。

増田教授は、このような口の働きを制御する脳の役割について研究しています。また、教授自ら開発した口唇閉鎖力を測定できる装置も紹介しながら、口の諸機能を分かりやすく解説します。

講義番号 ⑤

05



歯科放射線学講座
教授 田口 明
Akira Taguchi

専門・研究分野

歯科放射線学

歯科医が骨粗しょう症を見つける！

田口教授は、歯科医師が歯や周辺の骨を撮影する歯科パノラマX線写真を用いて骨粗しょう症を早期発見する診断法を確立し、国際学会でも注目を浴びています。

すでに日本の複数の都道府県の歯科医師会では、この手法による診断を実施しており、歯科医が医師に紹介した患者の9割以上が骨粗しょう症か骨量減少と診断されたケースもあって、その有効性が高く評価されています。こうした歯科と医科との連携をお話します。

講義番号 ⑥

06



口腔生化学講座
教授 宇田川 信之
Nobuyuki Udagawa

専門・研究分野

生化学・口腔生化学
硬組織疾患解析学

世界に発信！骨の研究は歯学部から

骨吸収と骨形成の分子メカニズムの解明に関する研究は、歯学部の得意分野です。歯周病や骨粗しょう症の治療に役立てるための研究です。硬組織(骨)研究の最先端をいく本学の総合歯科医学研究所の取り組みを紹介しながら、骨について知る講座です。

ヒトの骨格は、骨の成長が停止したあとも絶えず古い骨から新しい骨に入れ替わっています。骨を食べる細胞—破骨細胞がどのように形成され、骨を壊したりするのか、その神秘性をビジュアル的に迫ります。

講義番号 ⑦

07



口腔顎顔面外科学講座
講師 上松 隆司
Takashi Uematsu

専門・研究分野

口腔外科学

口腔外科医の奮闘記

口腔外科は、あごや顔面の骨折の治療をはじめ、口腔内(歯、唇、舌、あごなど)にできた病気を、手術や外科的処置で治療します。またインプラント(人工歯根)の埋め込み手術や口腔がんの検診、治療なども行っています。ほかの診療科との連携も重要で、各診療科の歯科医師が集まってカンファレンスを行い、意見交換をして治療方針を決めることもあります。まさに医療はチームワーク！ 口腔外科医として活躍する上松准教授が現場の様子を語ります。

講義番号 ⑧

08



大学院顎口腔機能制御学講座
教授 鷹股 哲也
Tetsuya Takamata

専門・研究分野

スポーツ歯学、歯科審美学

歯と健康、そしてスポーツライフ

歯や唾液の役割、噛み合わせについて説明し、よく噛んで食べることや適度な運動は健康に寄与することをお話します。

また近年は、スポーツ時においてマウスガードの重要性が高まっています。マウスガードは歯の外傷や脳しんとうを予防し、スポーツパフォーマンスを高めるのにも役立ちます。装着が有効なスポーツはボクシング、空手、ラグビーをはじめ、ラクロス、スノーボード、野球など。「スポーツ歯学」の内容とカスタムメイドのマウスガードについて語ります。

講義番号 ⑨

09



歯科矯正学講座
教授 山田 一尋
Kazuhiro Yamada

専門・研究分野

歯科矯正学

歯と口元を美しく

「歯科矯正」は欧米では一般的ですが、近年は矯正技術の進歩に伴い、日本でも前向きに捉えられるようになってきました。子どもや若い女性だけでなく、大人や高齢者の方々も矯正治療を受けるケースが増えてきています。

歯並びを改善すれば、噛みやすさだけでなく魅力的な顔や表情が生まれます。また、心理面でのプラス効果もあります。歯並びと矯正治療について動画などを用いて分かりやすくお話します。

講義番号 ⑩

10



口腔解剖学第2講座
教授 中村 浩彰
Hiroaki Nakamura

専門・研究分野

口腔組織・発生学

歯周組織の再生に挑む ―再生医療最前線―

中村教授は、歯の発生メカニズムを解明し、歯(骨)の再生医療の実現を目指して研究をしています。歯周病によって減少した歯槽骨の復元や、インプラント(人工歯根)を埋め込む土台となる歯槽骨を確保するために、歯根膜の幹細胞を用いてより効率よく歯槽骨をつくる療法を研究中です。

競争激化する再生医療研究の最前線についても触れながら、その研究内容を分かりやすく解説します。

講義番号 ⑪

11



生物学
教授 吉澤 英樹
Hideki Yoshizawa

専門・研究分野

生物学

サカナ陸に上がる (進化における両生類の陸生適応)

両生類は、今から約3.5億年前に陸上で生息することが可能になった最初の脊椎動物です。なかでもカエル類は南極大陸を除く全ての大陸に分布し、多様な生活環境に適応しています。多くのカエルは水中と陸上を行き来していますが、水中でしか生きられない水生種、産卵時のみ水に入る陸生種、砂漠に生息する種、汽水域や樹上に生息する種などとても幅広い適応性を示します。このように幅広い環境に生息することのできるカエルには、どのような仕組みが備わっているのかをお話します。

講義番号 ⑫

12



歯科補綴学講座
教授 黒岩 昭弘
Akihiro Kuroiwa

専門・研究分野

全部床義歯学、部分床義歯学、
欠損修復学

歯科医学って何？

大学では何ごとにも興味をもって自主的に取り組むことが大切ですが、歯科医学の勉強は知的好奇心を刺激する内容が盛りだくさん。教授自ら歯科医師をめざした理由やその道りをお話し、学生時代のエピソードを織り交ぜながら、大学6年間で学ぶ歯科医学の世界と授業内容を説明します。

また、歯の構造やヘルスケア、教授の専門分野である義歯についてもやさしく紐解き、いま求められている歯科医師像にも言及します。

講義番号 ⑬

13



教育学習支援センター
センター長
教授 岡藤 範正
Norimasa Okafuji

専門・研究分野

歯科矯正学

大学の教育支援、使命と役割

いま大学教育ではさまざまな学習支援がクローズアップされてきています。大学教育に必要な知識は大学で教える時代。

松本歯科大学の教育学習支援センターでは、さまざまな施設を充実させ、学習相談や総合的な学習支援を行っています。入学した学生一人ひとりの多様な履修暦への対応を図り、基礎力やコミュニケーション能力を向上させ、専門知識を習得させるための取り組みを、入学時から卒業まで6年間のカリキュラムを紹介しながら説明します。

講義番号 ⑭

14



歯科麻酔学講座
教授 澁谷 徹
Toru Shibutani

専門・研究分野

歯科麻酔学

歯科麻酔科医のテクニックで、痛くない

医学史上では、麻酔は19世紀中ごろにアメリカの歯科医師ウエルズとモートンによって発見されました。歯科麻酔科は、当初は口腔外科手術の全身麻酔を担っていましたが、いまでは一般歯科治療時に患者さんの全身管理や疼痛治療（ペインクリニック）も行っています。テレビドラマ「医龍」では麻酔科医の役割がクローズアップされましたが、患者さんに安全で痛くない歯科医療を提供する歯科麻酔科医の仕事を紹介します。

講義番号 ⑮

15



衛生学院歯科衛生士学科
専任教員 島田 陽子
Yoko Shimada

歯科衛生士の仕事

歯科衛生士は、単なる歯科医師のアシスタントではありません。患者さんの口の中の問題点を見つけ出し、それを解決するための方法を専門的な立場から助言し、援助するために、歯石除去、ブラッシング指導、食事指導なども行います。

歯科衛生士は口腔の健康を守るスペシャリスト。高齢者や要介護者の口腔ケアなど、病院内外でのその役割は社会ニーズの高まりとともにおいおいに期待されています。

歯科衛生士の仕事の内容について詳しくお話します。